



端麗にして高し—大蔵高丸

日本の名峰を撮る 白簷史朗山岳写真展

●会期/ 2019年4月26日(金) → 2019年9月1日(日)

※会期中に、一部作品の展示替えを行います。前期:4月26日(金)~7月1日(日) 後期:7月3日(火)~9月1日(日)

●会場/身延町なかとみ現代工芸美術館

●主催/身延町、身延町なかとみ現代工芸美術館

●後援/山梨県、山梨日日新聞社 山梨放送、テレビ山梨、エフエム富士、エフエム甲府、朝日新聞社甲府総局、読売新聞甲府支局、産経新聞甲府支局、毎日新聞甲府支局、NPO法人芦安ファンクラブ

●協力/山岳写真の会「白い峰」

身延町なかとみ現代工芸美術館

〒409-3301 山梨県南巨摩郡身延町西嶋345 TEL 0556-20-4555 FAX 0556-20-4557

●観覧料/一般500円(450円)、大・高校生300円(270円)、小・中学生100円(90円) ※ ()は20名様以上の団体料金

●開館時間/午前9時30分から午後5時(入館は午後4時30分)

●休館日/毎週火曜日(火曜日が祝日の場合は翌日 4月26日(金)~5月6日(日)は無休 5月8日(火)は臨時休館)

日本の名峰を撮る 白簾史朗山岳写真展

●会期/ 2019年4月26日(金) → 2019年9月1日(日)

※会期中に、一部作品の展示替えを行います。 前期:4月26日(金)～7月1日(日) 後期:7月3日(日)～9月1日(日)



怒れる富士—朝霧高原



中白峰の夏、間ノ岳近し



北岳の朝雲—中白峰から

1933年(昭和8)に山梨県大月市で生まれた白簾史朗は、日本を代表する世界的な山岳写真家です。

1962年(昭和37)に山岳写真家として独立した白簾氏は、南アルプスを中心とした日本の誇る山々をはじめ、世界各地の名峰をカメラに収めてきました。様々な山岳の表情を捉えた作品は国内外で非常に高い人気を誇り、数多くの山岳専門誌や写真専門誌で取り上げられています。

本展では、白簾氏の撮影した山岳写真の中から、白簾氏にとってライフワークともいえる南アルプスと、日本最高峰である富士山の写真を紹介いたします。白簾史朗が切り取った、山岳の輝きをお楽しみください。

※本展は、身延町なかとみ現代工芸美術館・南アルプス市立美術館・葦崎大村美術館の3館連携事業として開催いたします。葦崎では「葦崎市民交流センター-NICORI」内にて、4月21日(日)～5月31日(金)まで開催しておりますので、併せてご覧ください。



初夏の粧い—甘利山レンゲツツジ

身延町なかとみ現代工芸美術館

〒409-3301 山梨県南巨摩郡身延町西嶋345(身延町なかとみ和紙の里内)
TEL 0556-20-4555 FAX 0556-20-4557 身延町HP <https://www.town.minobu.lg.jp/>
和紙の里HP <https://www.town.minobu.lg.jp/washi/> 美術館Twitter @MN_artM

- | | | | |
|------|-------------------------|---|---|
| アクセス | 電車 | JR身延線 ^{※1} 「甲斐岩間駅」下車
・タクシーで約4分(料金片道約1,000円)
・徒歩25分(約2km) | ※1 身延線はJR東海道本線「富士駅」又はJR中央本線「甲府駅」より乗り換え可能
※2 和紙の里無料駐車場あり(普通車55台、バス6台) |
| | 自動車^{※2} | □中部横断自動車道 六郷ICから約5分
・県道9号線を静岡方面に向かい「峡南橋東詰」交差点を右折
□新東名高速道路 新清水JCTから約40分
・国道52号線を甲府方面に向かい「峡南橋西詰」交差点を左折 | |
| | 高速バス | 中央高速バス 身延新宿線
・新宿駅高速バスターミナルより約3時間 バス停「西嶋」下車 徒歩0分 | |
| | | | |

